

腎がん

【聖路加国際病院ロボット手術センター】

<腎がんの治療選択肢>

径の小さな（7cm以下）腎がんの場合、推奨される治療は腎部分切除術です。

01 治癒率

- 部分切除でも全摘でも、治る率は同じです

02 術後の機能回復

- 全摘よりも部分切除の方が、術後の腎機能がより多く残ります

<腎がんの手術方法>

01. 開腹手術

従来の標準的な治療です

02. 腹腔鏡手術

低侵襲※で傷が小さく体への負担が少ないですが、特に縫合において技術的に難しい手術です

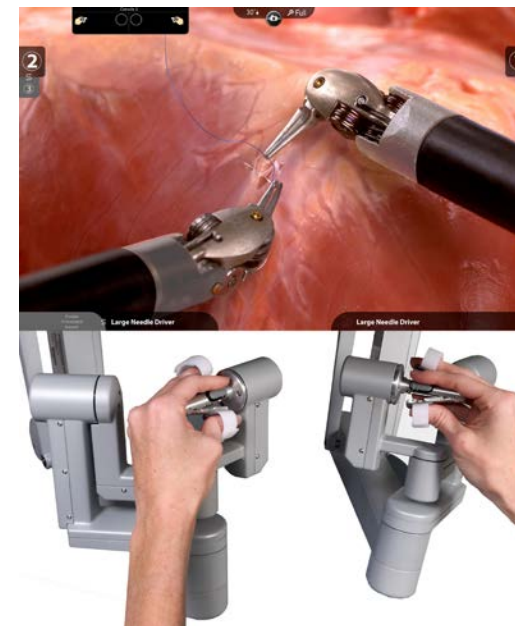
03. ロボット支援手術

腹腔鏡手術の良さに加え、欠点を克服し、**傷が小さく痛みが少ない手術**です。腹腔鏡の対応範囲より大きい腫瘍でも手術可能です。

※低侵襲…手術・検査に伴う痛み・出血などをできるだけ少なくすること

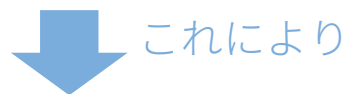
<ロボット支援手術とは>

腹腔鏡手術をさらに発展させた手術方式です。
高解像度3Dカメラ画像を見ながら、微細な動きを実現できるロボットアームを操り、
より安全で体への負担が少ない手術を行えます。



<ロボット支援手術のメリット>

ロボット支援手術は、
より正確で、より安全な手術が可能となります



メリット 開腹手術に比べ、傷が
01 小さく、痛みや出血が
少ない手術です

メリット 内視鏡カメラと超音波
02 画像が同一画面に並べ
て描出可能のため、腎
臓の中に埋もれている
腫瘍も摘出できます

メリット 腹腔鏡手術の良さを活
03 かしながら、より大き
な腫瘍など幅広い腫瘍
に対して腎部分切除術
が可能です

<ロボット腎部分切除術の術後経過例>

入院期間：7日間

1日目	手術前日	入院	
2日目	手術当日	手術	絶飲食
3日目	手術翌日		歩行、食事再開
4日目			
～			
6日目			
7日目	術後5日目	退院	